

県名: 東北BC(福島県)
 報告日: 令和4年9月21日
 報告者: 靄田安一

1. 都道府県青年部の活動報告

都道府県名	年月日	活動報告
青森県	9月17日	BCP講習会、第一回幹事会
岩手県	9月15日	第2回役員会
宮城県		特になし
秋田県		コロナ蔓延により活動なし
山形県	9月15日 9月20日	役員会開催 小役員会(部会長・副部会長3名)
福島県	8月27日	第3回役員会 兼 ハイスキップ構法勉強会 兼 暑気払い

2. ブロックの活動報告

年月日	内容
東北BC 7月27日	第2回役員会(仙台:ノースピアビル)

3. 構造設計者との交流活動の状況報告(各府県で実績があれば記入願います。)

年月日	内容

4. その他(近況報告・市況等)

府県名	内容
青森県	<p>・稼働率 Hグレード:100%、Mグレード:100%、Rグレード:95% ・手持ち工事量 Hグレード:4～12ヶ月、Mグレード:2～8ヶ月、Rグレード:1～5ヶ月 工場平均稼働率と手持ち工事量は前月に引続き横ばい。 しかし、今夏の見積物件は大幅に減少傾向にあり、特に地場の小型物件の動きが低調だった。 グレードにより仕事量にバラツキがでていますが、各社仕事をシェアしながら例月並みに工場を何とか稼働している状況。深刻な鋼材価格は今後も上昇傾向が続くとみられ、実際物件契約時に受注価格への転嫁がなかなか厳しく、価格交渉に苦慮している工場が増加。結局、予算が合わずに、工程の見直しや設計変更・中止に至るケースも増えている模様。円安・原油価格高騰による運搬費の値上がり・副資材への影響等、業界を取り巻く経済環境の改善の兆しは見えず、課題は山積みである。 このような厳しい状況だからこそ、これからも、組合員同士、より一層こまめな情報交換が必要である。</p>
岩手県	<p>・稼働率 Hグレード100% Mグレード99% Rグレード93% Jグレード100% ・山積み Hグレード8か月 Mグレード4か月 Rグレード2か月 Jグレード2か月</p>
宮城県	<p>S・Hグレードの山積みは、来年8月くらいまで。M・R・Jグレードも、年内はいっぱい。 稼働率についてはグレード問わず100%越え。 相変わらず各社 図面の遅れや鋼材納期の長期化により、山積みの調整に苦慮している。 コロナや濃厚接触者が出てしまい、工場の稼働に影響あり。場合によっては外注せざるを得なくなっているところもある。</p>
秋田県	<p>図面承認の遅れにより建方がずれ込み調整に追われる中、コロナ感染症により社内及び家族で陽性なり、人手が足りなくなりその対応に追われることが多々ある。 秋田県に誘致企業が続々来ているが、既存企業は給与及び福利厚生面で負けてしまう為人材流出、人手不足に繋がっている。 又、諸コストの上昇含め、2024年問題により更なるコスト上昇が見込まれる為懸念している。</p>

山形県	<p>共通事項として、 全般的な材料入手難が慢性的になっている。SN材も10月ロール以降の受付状況 鋼材値上がりも同様に受注価格に転移するにも値動きが早く、受注後の交渉は難しくなっている。 稼働率は鋼構造物業で概ね100%、建設金物等を主とする鉄工所では80%前後となっている。</p> <p>Hグレード:稼働率100%以上 令和6年度まで案件を抱えている。引合い物件が全般的に大型化している状況。 ただし、鋼材納期や高騰問題で不確定要素が多々あり、物件によっては中止等の話も出ている。</p> <p>Mグレード:稼働率100%以上 山積みは令和5年3月頃まで 引合いとしては令和5年GW明け程度までのfabあり。 足元の見積引合いは落ち着いている状況</p> <p>Rグレード:稼働率100%以上</p>
福島県	<p>各グレードばらつきはあるが、受注残・稼働率共に高い様子です。 稼働率の高さは、現場行程の遅れによる製作工程の圧縮の影響もあるようです。 見積もり件数も普通、手持ち工事量も平均3~6ヶ月と現状変わらず 推移していますが、鋼材・副資材の値上げは続いており、受注単価内で どれだけ利益を確保出来るかは今まで以上にきびしい見通しです。 稼働率・山積みは高いが、利益には不安がある状況のようです。</p>